



Studying in Leeds 2016

研修期間...2016/8/6 ~ 9/12 (35日間)

事前ミーティング : 全5回程度 (先生方や前年度留学生、留学生案内係の方、JTB関係者の方からの説明会等)

リーズ大学への通学 : バス/電車など、通学時間はホームステイ先によるが大体30分以上は掛かる

出国時の注意 : 体調管理、事前学習 など

留学中の注意 : ストレスや環境 (硬水、低温) による体調不良、自己学習の実践、事故、盗難 など

帰国時の注意 : 搭乗荷物の重量オーバー(3人中2人はギリギリオーバー...)

金銭の注意 : カード番号は把握しておきましょう。カードでの支払いが主なので、現金はそんなに必要ありません。

天候 : 日射の強さや降水は夏、風や気温は秋(15°C前後)

リーズは比較的晴れの日が多かったですが、観光先では全く逆の天気の時もあります。

8月中旬は20時でもまだ明るいですが、8月下旬からは秋のような気温になり、20時には真っ暗になります。

雨具 : A 風で壊れるので多少壊れた傘を持参 B カッパを持参したが傘を購入 C 現地で買って、壊れて二回購入

ご飯 : 平日は朝晩、休日は朝昼晩用意して下さいます。外食等で要らない時はホストファミリーに連絡しましょう。

ホストファミリーへのお土産 : A 音の仕掛け付きのポストカード、お茶、抹茶アイス、日本の駄菓子

B 扇子、手ぬぐい、緑茶パック、日本酒、折り紙、日本のお菓子

C 紅茶、クッキー

ホストファミリーによっては過去に日本人を受け入れている家庭もあり、お箸などは被る恐れも...

## リーズ大学での授業 (ある週の例)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
午前	project	project	project	workshop	Language test
午後	Film project	Film project	Film project	Film project	Film festival

今年度はクラス分けテストが出国前にあったので、現地では本当に簡単な面接だけがありました。午前にはレベル別の勉強クラス、午後はプレゼンやワークショップのためのクラスがありました。文法、発音、リスニング、スピーキング全てについて、日本とはまた違った角度から行うので面白いです。特にどのクラスでも毎回最低1回は発言を迫られる(昨日は何をしたか、隣の人と話し合うのが恒例)ので、必然とスピーキング・リスニング能力が鍛えられました。

授業中は勿論日本語厳禁なので、この機会に色々な人と英語で話をしてみましょう。授業に付いて行くのが難しいな、と感じた場合は、遠慮せず先生方に相談しましょう。リーズ大学の先生方は皆優しく、必ず真摯に話を聞いて下さります。

## リーズの街と構内

リーズ大学は（工織とは比べ物にならないくらい）広いです。どこからが街でどこからが大学か初めは分からないほどでした。学校の授業に慣れると、帰りにリーズの街を探検したり最初の週末は出かけてみました。リーズ内にも博物館(Royal Armories Museum など)等の見所が沢山あるので、皆さんも色々と探検してみてください。



# 週末の過ごし方

## 研修生Aの場合

私はロンドンには電車で3回4日行きました。Bank holidayが事前にいつか知っていたら、宿泊の方がもう少しのんびり過ごせたかと思います。日本からの連絡はなるべく断つのが望ましいですが、忙しくてのんびりは廻れませんがツアーだけは申し込んでよかったと思いました。計画がないときはホストファミリーが車で連れて行ってってくれたりしました。

## 研修生Bの場合

自分は毎週のように色々な都市へ観光に行きました！ Londonは勿論のこと、 Whitby, York, Edinburgh などなど。日帰りで行った所もあれば、2泊3日掛けて巡った所もあります。観光の計画は自分で立ててみるもよし、人に付いて行くもよし。因みに、イギリスにどんな観光地があるかというのは、向こうに行ってからhost に訊いたり、ネットで調べたりして知りました。

## 研修生Cの場合

私の場合、毎週末鉄道を使って基本的に日帰りです。いろいろなところへ出かけていました。LondonやYork、Edinburghへも行きましたし、Lake districtへも行きました。また、ロックミュージックが好きなのでその関係でManchesterやLiverpoolにも数回行き、好きなバンドに関係するイベントやバスツアーに参加したりもしました。

ManchesterやLiverpoolのような自分の趣味に直結している場所については事前に調べていきましたが、その他の場所については向こうで友達やホストファミリーに教えてもらい毎回急ごしらえで計画を立てていました。

## 今年度の反省点と来年度以降に向けてのアドバイス

研修生Aの場合：事前に借りたwi-fiルーターについてきたコンセントプラグが丸い2つ穴でそれでいいと思って持っていくと初日に違っていることが発覚。host fatherがIT関係の人だったので何とかかなりでしたが、事前に確認しておいた方が良いです。Brit rail passは日本で買っていくことをお勧めします。私は4日分買いましたがもう少しあってもよかったと感じました。時間を気にせず往復できるからです。ただし日帰りの時の方がお得なので、宿泊するときは別の手段を使いましょう。

研修生Bの場合：向こうで暗くなるのはこちらと比べてかなり遅い時刻(20:00頃)からですが、油断して暗くなってしまった夜道を歩かないようにしましょう。Leedsは他の都市と比べると比較的安全ですが、それでもやはり日本のそれとは訳が違います。また、向こうではバスで移動する事も多くなると思います。バスの種類に依りますが、停車駅のアナウンスが無いバスが多く、そんな時は風景を覚えておいて降りなければいけません(暗かったり雨が降っているとそれも難しいです)。自分はwifiテザリングの出来る携帯(Pay as you goと調べてみて下さい)を買い、Google Mapを起動しながらバスに乗ることで難を逃れました。

研修生Cの場合：向こうで一番「早く買っておけばよかった」と思ったものが、年間30ポンドでNational Railの様々なチケットを3分の1オフで買えるRailcardでした。買うタイミングにもよりますが、エディンバラやロンドンでしたら往復一度の旅行で90ポンドほどはかかることが多いので一度で元がとれます。ぜひ検討してみてください。旅行の際にバスより電車を使おうと考えている人は他の方が書いているBrit rail passかRailcardのどちらかは利用すると断然お得になるかと思います。また、持っていくお金についてですが、向こうでは「(盗難に遭う可能性があるため)現金で持ち歩くのは20ポンドまでにしたほうがいい」とアドバイスを受けるほどで、思った以上にクレジットカードが中心になります。現金の使い道はバス(現金しか使えない場合が多いようです)や友人との割り勘程度なので、私の場合は現金は3万円分も必要なかったなという印象でした。

# おわりに

留学や海外渡航が初めてという方も居ると思います。

初めてのことで不安になるのは当然のことです。

一人で抱えず、少しでも疑問に思った事があれば

チームメイトや先生方、私達にでも良いので相談して下さい。

皆さんの一生の思い出に残る留学となる事を願っています！